

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	664
部名	生涯学習部	課名	相模台公民館	課長名	菊地原弘道
事務事業名	高齢者学級				
予算上の事務事業名	公民館活動費相模台公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第2施策 生涯学習活動の支援				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立公民館条例、社会教育法、相模原市高齢者学級開設要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	相模台公民館振興計画		地域の特性や個性を生かし、公民館の将来像や活動方針、運営組織のあり方などを検討し、住民の主体的な活動の推進を図るために策定		
計画年次	17	年度～	25	年度	
4 事業形態の区分		研修・講座 ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めるため、また市民生活の中で高齢者がかかえているさまざまな問題について学習し、積極的な生きがいを求めるために実施する。 生涯学習活動を推進するため、高齢者が市民生活の中で抱えている様々な問題やニーズに合ったプログラム等を企画・立案し実行することを目指し、地域から選出された実行委員とともに運営していくもの			相模台公民館区内に居住する60歳以上の高齢者を原則とする		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
プログラム等を企画・立案するために地域住民が準備委員会を立ち上げ、住民による運営委員が主体となって教室を運営した。 相模台高齢者学級 テーマ しあわせづくりを求めて～地域とともに～ 実施期間 平成16年9月28日から11月30日(全10回) 定員130人					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	90	90	90	90	90
一般財源	90	90	90	90	90
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	40	40	40	35	35
事業コスト合計(a)	130	130	130	125	125
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	高齢者学級		対象名称(単位)	受講者数(人)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	130	130	130	125	125
対象数	132	138	155	160	160
単位あたり経費(円)	985	942	839	781	781
前年度比		0.96	0.89	0.93	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	参加者及び修了者人数（人）	指標式と指 標の説明	参加者数（目標）と修了者数（実績）による修了達成度		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	110.0	105.0	118.0		
目標	132.0	138.0	155.0	160.0	160.0
目標達成度	0.83	0.76	0.76		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加者の満足度（％）	指標式と指 標の説明	満足している人/アンケート回答者総数×100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	72.1	66.7	72.8		
目標	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0
目標達成度	96.1	87.8	94.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業		
	[]	：概ね良好な状況である事業		
	[]	：見直しを行う必要がある事業		
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業		
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 当該学習プログラムの企画・実施においては、魅力ある教室づくりが不可欠といえる。また、受益者負担や委託料の見直し、公民館としての確かなアドバイスの必要性はあるが、事業への関わり方を軽減するなどの検討など、その対応の必要性がある。			14 課題として認識されたこと 高齢化社会が進行する中で、当該事業は、高齢者の学習意欲・生きがい・健康づくりの役割を担っている。当該事業は、主体的に住民が学習プログラムを企画し実施していくものであるが、住民のニーズ把握等を的確に反映させ、魅力のあるより多くの方の参加が図れる学級づくりが求められている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
			地域との連携を強化し、事業効果を高める。		